

平成30年度 第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会旭川地区予選 開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 平成30年度 第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会旭川地区予選
- 3 主 催 旭川地区サッカー協会、北海道高等学校体育連盟旭川支部
- 4 主 管 旭川地区2種委員会
- 5 後 援 旭川市、旭川市教育委員会
- 6 期 日・会 場 平成30年8月25日(土)26日(日)9月1日(土)2日(日)
旭川市東光スポーツ公園球技場
- 7 参 加 資 格 (1)平成30年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(2)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3)選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(4)「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。
(5)平成11年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(6)チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8)部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9)① 転校後6カ月未満の者(全道大会日計算)は参加できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。(外国人留学生もこれに準じる)
② 転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記①に準じるものとする。ただし、この規定②の適用は当該年度内に限るものとする。
(10)選手は、在籍する学校長及び所属地区サッカー協会長の承認を必要とする。
(11)各チームの登録選手は、原則として選手証(写真貼付したもの)を試合会場に持参すること。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認出来る場合は出場を認める。
(12)外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
(13)参加資格の特例
① 上記(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

- ② 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加資格を認める条件
 - ① (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際し守るべき条件
 - ① 全国高等学校サッカー選手権大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率し、万一の事故の発生に備えて万全の事故対策を講じておくこと。
大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 8 競技規則 (1) 2018年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
(2) 大会参加申込みをした最大25名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員のうちから、5名までの交代が認められる。
(3) 交代要員9名とスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。

- 9 競技方法 (1) トーナメント方式により旭川地区代表校(1校)を決定する。
(2) 試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、原則として10分間とする。勝敗の決しない時は、ペナルティキック方式により次回戦に進出するチームを決定する。
(3) 代表決定戦において、勝敗が決しない場合は20分(10分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない時は、ペナルティキック方式により優勝チームを決定する。

- 10 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

- 11 参加料 大会参加料7,000円(消費税込)抽選会当日持参

- 12 参加申込 (1) 参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、選手25名、マネージャー2名とする。
(2) 申込締切期日 1次申し込み(1次申込書) 平成30年7月20日(金)
2次申し込み(2次申込書) 平成30年8月20日(月)17時必着
(3) 参加申込書の位置(ポジション)については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。

旭川地区サッカー協会ホームページより2種を選択し、平成30年度 第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会旭川地区予選、参加申込をダウンロードする。その書式を利用し、一部はメールで下記アドレスへ送信し、もう一部(学校長の職印のあるもの)は抽選会当日に提出する。
旭川永嶺高校 勘七まで メールアドレス kanshichi427@hokkaido-c.ed.jp

- 13 組 合 わ せ 旭川地区サッカー協会2種委員会・高体連専門委員会が公開で行う。なお、参加チームで抽選会出席可能なチームは参加することができる。
- (1) 日時 平成30年7月24日(火)18:00～
 - (2) 場所 北海道旭川永嶺高等学校 会議室
 - (3) 高円宮杯U-18サッカーリーグ2018プリンスリーグ北海道出場校(旭川実業)は、旭川地区予選を免除する。
- 14 選 手 変 更 登録選手の変更は3名以内とし変更届用紙に必要事項を記載し8月23日(木)17時必着で、メールで送付すること。職印のあるものは、初戦に提出すること。
- 15 ユニフォーム
- (1) ユニフォームは正副2色(シャツ・ショーツ・ストッキング、FP・GK用共)を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
 - (2) 選手番号については、1番～25番までとする。
 - (3) チームのユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
 - (4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
 - (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
 - (6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
 - (7) ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
 - (8) 縞のユニフォームには、30cm四方の台地に背番号を、約10cm四方の台地に胸番号をつけること。
 - (9) その他については「2018ユニフォーム規程」を遵守すること。
- 16 懲 罰
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - (2) 規律委員会の委員長は道専門委員とし、委員については委員長が決定する。
 - (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
 - (5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
- 17 そ の 他
- (1) 各試合の前に代表者ミーティングを実施する。
 - ① 各試合競技開始70分前に所定の場所で実施する。
 - ② メンバー提出用紙を出場選手の選手証と共に提出すること。
 - ③ 両チームのユニフォームを決定する。(ユニフォームを正副一式持参すること)
 - ④ 諸注意事項の説明等を行う。
 - (2) 選手資格に関して、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。

- (3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実施委員会(道専門委員、支部専門委員、地区2種委員、審判長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (4) 優勝チームには「第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会」への参加を義務付ける。

以 上